

信州大学教育学部附属松本小学校 4 年生への感想

〔児童の皆様へ〕

- 給食という小学生の楽しみであるものに焦点を当てて、探究学習をスタートさせていることがとても良いと思った。栄養素の面から解決策を考えて、実際にやってみるという流れがよいと思った。何歳になっても健康は大切だと思うので、今回学んだことを日常生活にも生かしてほしい。災害時の食について詳しく学ぶことができた。
- 苦手な食べ物を無理に食べようとするのではなく、同じ栄養素を補える代替りの食材を提案しているところが良いと思いました。被災した場合の家と避難所での生活を想定して、特に家ではどんな備えをすればいいのかを細かく提案していたところが良かったのですが、避難所ではどんなことが想定されるのかも詳しく調べられるともっと良くなると思いました。
- 給食を残してしまうのに本当に給食が好きと言えるのかという疑問から、災害時の食事についてうまくつなげることができていたと感じた。災害時の献立で栄養、賞味期限だけでなく食べる人の気持ちも考えることができていたと感じた。
- より良い「食」から考える災害時における「食」ということで、自分たちの身近にある給食から栄養面について考えられていて、私自身も勉強になりました。何かから取れなかった栄養は他のもので代用しながらバランスの取れた食事を心がけたいと思います。また、災害時にはパッキングというものが有効で、ポイントを押さえれば出来そうだったのでやってみようと思いました。
- パッキングが印象的でした。災害時は食べ物がとても限られてしまいます。しかし、パッキングでは暖かいものが食べられるというメリットだけでなく、アレルギーにも対応できる点がとても良い点だと感じました。
- 給食が大好きだが残している友達もいて、本当にバランスのとれた食事ができているのかといった疑問を自ら抱き、みんなで追求を深めていて素晴らしいと思いました。実践を通して、自分自身の食生活を考察して、よりバランスのとれた 1 日の食事や給食の献立を考えることで、日常生活に生かせる学びができるということを実感しました。近年、災害が頻繁に発生しているが、パッキングを知ることで、災害時においてもバランスを考えたより良い食事をするということが分かりました。そして、災害時においてもより良い選択することが大切であるということが分かりました。授業の学びから得た知識を普段の生活で活かし、それらの取り組みを継続できると良いですね。これらも、より良い生活を実現するために、探究を続けてください。ありがとうございました。頑張ってください。
- 今年の 1 月 1 日に起きた能登半島地震に関連付けて聞いていました。「もし〇〇だったら、〇〇かもしれない」という部分にまで目を向けて考えられている点が素晴らしいと感じました。今後も地震や台風など、様々な自然災害が起こることが想定されるので、今回の発表をしっかりと覚えておきたいと思います。素敵な発表でした。
- 家庭科で習う内容を、意味を持って自分の生活に落とし込んで、活動にとり組んでいる様子に感動しました。栄養がとれればいいので、嫌いなモノを無理矢理取らなければいけないわけではなく、同じような栄養素を持つ食べ物を取ればいいことに気づいている点がすごいと思いました。家庭科を専攻しているので、授業作りの参考にさせてもらいたいと思いました。

- 私は能登地震を金沢市で体験しました。被害は少なかったですが、食べ物や水がコンビニからとても少なくなって不安になりました。そういったときに家にあるものや今ある材料で調理が出来、食べることが出来ると分かれば災害時でも少し安心して生きていくことできるなと思いました。今回は火を使うパッククッキングでしたが、火を使わずに出来る災害時に長持ちして食べる事が出来る料理法はどんなものがあるのかも気になりました。給食という身近なところから災害にまで発展させて考えていてすばらしいなと発表を聞いて思いました。
- 毎日の給食を見直して、食について考える姿が印象的でした。〇〇が少ないから〇〇に〇〇を入れるという毎日続けられる工夫ができることを知り、給食や日々の食事を見直すことができているのがとても良いですね！また、災害時にはどんなことが出来なくなるのか実際の話からイメージし、実践しているのも魅力的でした。災害の多い日本で身に付けないと困るスキルばかりだなと思いつつも勉強になりました。
- 発表ありがとうございました。皆さんの発表を見て、私は初めてパッククッキングというものを知りました。私がいま、災害にあったら使える食材を無駄にしていたと思います。災害時の食について一番大切なことはより良い選択をするために知ることという言葉がありましたが、本当にその通りだと感じました。また、シチューやナムルなど実際においしそうな献立を考えられているのがすごいと感じました。
- 食事の栄養バランスが良くないときどうするかといったことと、災害時の食では選択が必要なことを学んだのです。私は小学生の頃、給食がきれいな子どもでした。すききらいが多く、毎日1つはきれいなものが給食に出るので、給食の時間が来ないでほしいと思っていた思い出があります。今でもきれいなものが多いですが、皆さんの発表を聞いて、きれいなものを食べなかったときには、同じ栄養をもった別のものを食べるようにしたいと思います。皆さんも栄養バランスに気をつけて、健康でいてください。

〔教職員の皆様へ〕

- 給食を見直そう、から、「身体にいい食事って何かな」と栄養のことを調べ、「苦手なものがあった場合栄養はどうなるのかな」と置き換えられる食べ物を調べ、食事バランスガイドを参考に実際にやってみる...分かったら次へ、またその次へ、と進んでいく流れが素晴らしいなと思いました。食事の事を考えたところに社会科で学んだ、そして現在起きている自然災害での食事まで学びが展開し、子どもたちの思考の深まりに感動しました。より良い選択をするためには知ることが大切、本当にその通りです。このような学びが出来る子どもたち、先生方がどのようにサポートされていたのかも知りたいと思いました。
- 松本市の災害を学習し、そこからライフラインが止まったときのことを考える学習の流れが子どもたちの意識に沿ったものだと思います。パッククッキングは、授業見学もさせていただきましたが、災害時のことをリアルに考えて調理をする姿が印象的でした。